

寄稿
環境・文化・生活の充実で経済再生を
おだわらを拓く力
加藤 憲一



かとうけんいち
 1964年小田原生まれ。小田原高校、京都大学法学部卒。経営戦略コンサルティング会社、民間教育団体、農業、オービックビル事務局長などを経て、現在有限会社あしがら総研代表。妻と子ども2人の4人家族。

市民の活力が溢れ、教育や福祉の充実した、いつまでも安心して暮らせる地域を創るためには、何と言っても地域の経済が元氣である必要があります。しかし、国内総生産がプラス成長を続け、日本経済がすっかり回復基調を取り戻したと報じられる中、地方都市の経済にその実感はまだまた薄いのが現実です。

例えば、小田原市の統計では、工業製品出荷額および商品販売額のいずれも、ピークであった平成初頭に比べ7割前後まで落ち込んでいます。企業誘致は各自治体が熱心に取り組んでいます。小田原駅地下街の閉鎖に象徴される地域経済の落ち込みを前に、大手資本は小田原への進出に極めて消極的です。

外の力に頼れぬ以上、私たちは否応なくこの地域が今持っている資源を活かし育てるしかありません。しかし実はそこにこそ、「あしがら」が他のどこよりも素晴らしい地域となり、経済も活性化する道があるのです。海、山、森、川、田園、歴史、文化、地場産業など、人の心を潤し暮らしを豊かにする要素にこれほど恵まれた地域はありません。これらの資源を、まず私たち住民が十分に享受できるように、手を加え整え磨きましょ。それは素晴らしい教育環境や生活環境となり、市民生活の充実と定住者の増加につながります。その環境は住民だけでなく、来訪

ご意見お待ちしております
おだわらを拓く力
 (加藤けんいち後援会)
 小田原市栄町2-13-1-2F
TEL.0465-21-5260
<http://www.katoken.info>

者にとっても大きな魅力となり、何度でも訪れた地域となります。環境・文化・生活の豊かな「あしがら」という地域ブランドが育てば、様々な情報や活動は自ずと集積し、地域の経済が良循環に入るでしょう。
 ※7月、元産業再生機構の富山氏をお迎えし、地域経済を元気にする道を考えます。詳しくは下の記事をご覧ください。

第1回 小田原再生フォーラム 『地域経済の再生を考える』
 7月15日(日) 小田原市民会館6F

小田原が直面する課題に答えを見出すべく、(有)あしがら総研(加藤憲一代表)では、「小田原再生フォーラム」と題した講演とシンポジウムを開催する。第1回目は、産業再生機構の業務執行最高責任者として、いくつもの企業の再生を陣頭で指揮した富山和彦さんを招く。講演では豊富な実践談を伺いながら、小田原の地域経済再生の道を考えていく。また講演後は、富山さん、地元経営者の方を交えてシンポジウムも。◆7月15日(日)午後2時〜午後4時に、小田原市民会館6Fにて。参加費は1000円。定員70人(要予約)。7月13日(金)申込み締切。

講師
富山和彦さん
 (元・産業再生機構)

問合せ・申込み先
(有)あしがら総研
 ☎0465・20・0575 / ☎0465・20・0570 / asigara_souken@nifty.com